

文部省官制中改正ノ件外三件第一回審査委員會

昭和十五年十二月十七日(火曜日)本院事務所ニ於

テ開會

出席者

原 議 長

鈴木 副議長

審査委員長

石塚 顧問官

審査委員

封印  
密  
印

國務大臣

南	顧問官
菅原	顧問官
潮	顧問官
深井	顧問官
二上	顧問官
三上	顧問官
金光	厚生大臣
秋田	拓務大臣
橋田	文部大臣

説明員

小川	鐵道大臣
村瀬	法制局長官
入江	法制局參事官
井手	法制局參事官
宮内	法制局參事官
菊池	文部次官
小笠原	文部省體育官
堀	商工省振興部長
鈴木	鐵道次官

平山鐵道省經理局長

齋藤鐵道書記官

副島拓務省管理局長

須田臺灣總督府事務官

鈴木臺灣總督府事務官

波多野臺灣總督府事務官

兒玉厚生次官

内藤厚生省職業部長

堀江書記官長

諸橋書記官

高辻書記官

(午後二時開會)

石塚委員長開會ヲ宣ス

橋田文部大臣、小川鐵道大臣、金光厚生大臣及秋田拓務大臣ヨリ本案ノ各件ニ付夫々説明アリ

石塚委員長官廳事務ノ再編成ニ付當局ノ説明ヲ求ム  
村瀬法制局長官ヨリ時局ニ鑑ミ比較的不要不急ナル人員  
及部局課ハ之ヲ整理シ他面極メテ重要ナル方面ニハ人及

物ヲ集中スベク既ニ官廳事務再編成ノ方針ヲ閣議ニ於テ決定シ此ノ方針ノ下ニ明年度豫算ヲ編成シ之ヲ實行セントスルモノナルガ本年度ニ於テモ能ク限リ此ノ方針ニ則ルベク但ダ本案ノ各部局ハ極メテ重要ニシテ全面的官廳事務ノ再編成ヲ待ツノ道ナキヲ以テ茲ニ提案シタルモノナル旨ヲ述ブ

南委員ハ今ヤ國家重大ナル變局ニ際會シ國民ハ負擔ノ加重ニ苦シミ其ノ生活亦困窮ヲ極ム此ノ難局ヲ克服セントセバ上下一致協力以テ之ニ當ルノ外ナシ政府ハ須ラク財政ノ緊縮政費ノ節約ヲ圖リ率先範ヲ國

民ニ示スベキナリ然ルニ現政府ノ爲ス所ヲ見ルニ往々國民ニノミ多大ノ忍從ヲ要求シ政府自ラハ行政機構ヲ擴大シ官吏ヲ増員シ毫モ反省ノ色ナキガ如シ國家ノ爲洵ニ憂慮ニ堪ヘズ政府ハ今後如何ナル方針ヲ以テ此ノ時局ニ對處シ政務ノ執行ニ當ルヤトノ質問ヲ爲シ閣議ニ於テ協議ノ結果次回ノ會議ニ際シ答辯アラシコトヲ求ム石塚委員長、菅原、三土名委員ハ南委員ノ所説ト思フ等シクスル旨ヲ述ベ夫々政府ノ深厚ナル考慮ヲ促シ且次回ノ會議ニ於テ明年度豫算ノ大要ニ付説明アラシコトヲ求ム

南委員ヨリ體鍊局ノ名稱ニ付耳ニ親シマザル語ヲ用フルハ國語ヲ混亂セシムル所以ナルヲ以テ體鍊ノ稱呼ヲ體育ニ變更スベシト主張シ政府ハ民間ニ對シ統制ヲ加ヘ合同ヲ慫慂シツツアル際ナルニ體育ニ關スル行政事務ヲ學校關係ナルト否トニ依リ文部厚生ノ兩省ニ分屬セシムル理由如何トノ質問アリ橋田文部大臣ヨリ體鍊局ノ名稱ハ國民學校ノ教科ノ一タル體鍊科ト相照應スルモノナル旨、金光厚生大臣ヨリ體育行政事務ハ之ヲ厚生省ニ統一セバ教育行政ノ一貫性ヲ缺キ之ヲ文部省ニ統一セバ保健行政ノ徹底

性ヲ缺クコトト爲ルヲ以テ兩省ニ之ガ事務ヲ分屬セシメ相互ノ關係ヲ緊密ナラシムベキ旨ノ答辯アリ  
潮委員ハ中等學校入學考査ニ例ヲ採リテ體力重視ノ弊ヲ説キ深井委員ハスポーツニ對スル當局大臣ノ所見ヲ訊シタルニ對シ橋田文部大臣ヨリ體力偏重ノ行過ハ是正スベク從來ノ選手制度ヲ基本トスルスポーツハ身心一如ノ見地ヨリ訓練セラレタル全體ノ中ヨリ優レタル者が選バレテ競技スル方面ニ向ケントスル旨ノ答辯アリ  
石塚委員長本日ハ之ニテ閉會スル旨ヲ宣ス

(午後四時四十分閉會)

文部省官制中改正件外三件第二回審査委員會

昭和十五年十二月二十一日(土曜日)本院事務所於  
テ開會

出席者

原 議長

鈴木 副議長

審査委員長

石塚 顧問官

審査委員

國務大臣

南	顧	問	官
菅原	顧	問	官
潮	顧	問	官
深井	顧	問	官
二上	顧	問	官
三土	顧	問	官
金光厚生	大	臣	
秋田拓務	大	臣	
橋田文部	大	臣	

説明員

河田大藏	大	臣
小川鐵道	大	臣
村瀨法制	局	長
森山法制	局	參
入江法制	局	參
井手法制	局	參
菊池文部	次	官
小笠原文部	省	體
鈴木鐵道	次	官

平山鐵道省經理局長

齋藤鐵道書記官

副島拓務省管理局長

須田臺灣總督府事務官

鈴木臺灣總督府事務官

波多野臺灣總督府事務官

兒玉厚生次官

内藤厚生省職業部長

堀江書記官長

諸橋書記官

高辻書記官

(午前十時開會)

石塚委員長開會ヲ宣ス

前回ノ委員會ニ於テ爲サレタル南委員ノ質問ニ對シ秋  
田拓務大臣ヨリ閣議決定事項トシテ左ノ言明アリ

内外諸情勢ノ推移ニ鑑ミ國民舉ツテ困苦缺乏ニ堪  
フルノ今日政府ハ白ラ率先シテ困難ニ堪ヘ不自由  
ヲ忍ビ、克ク最小ノ機構ヲ以テ充分ナル行政ノ實



効ヲ擧ゲザルベカラズ政府ハ經費ノ節減及職員増  
加ノ抑制ニ付テハ曩ニ爲シタル本年度豫算實  
行ニ關スル閣議決定ノ趣旨ニ從ヒ極力之ニ努メ來  
リシ處ナルモ今後更ニ一段ノ決意ヲ以テ人員及部局  
課ノ増置新設等ニ依ル機構ノ膨脹ヲ抑フルノミナ  
ラズ曩ニ爲シタル閣議決定ノ方針ニ則リ官廳事  
務ノ再編成ヲ急ギ時局ニ鑑ミ比較的不要不急  
ナル人員及部局課ノ整理ヲ行フト共ニ現下ノ國際  
情勢ニ對處シ高度國防國家體制ヲ整備スル爲  
特ニ必要アルモノハ之ヲ別トシ然ラザルモノニ付テハ眞

ニ緊急シムヲ得ザル場合ヲ除クノ外人員及部局課  
ノ増置新設等ハ極力之ヲ避クルモノトス

次デ河田大藏大臣ヨリ昭和十六年度一般會計豫算ノ  
大要ニ付説明アリ

深井委員ヨリ近時經濟至上主義ヲ排斥シ政策決定  
ノ上ニ於テ經濟上ノ考慮ヲ輕視スルノ風潮アリ日本銀  
行ノ引受ニ依リ資金上ニ制限ナリ公債ヲ發行シ豫算  
上ニ於テ容易ニ國家財政ノ收支均衡ヲ圖ルモ之ガ實施  
ニ當リ物資ノ缺乏ニ逢著シテ計畫挫折スルニ至ルガ如  
キ危除ナキカラ訊シタルニ對シ河田大藏大臣ヨリ歲入

補填公債ハ能ク限リ之ヲ抑制スベク而シテ公債消化  
力特ニ國民貯蓄ト物資ノ方面即チ物動計畫トヲ相  
較量シ豫算作成ニ當ルベキ旨ノ答辯アリ

三上委員ヨリ明年度豫算ニ關聯シ豫算單價ヲ問  
ヒ且政府兌換券ノ増發ニモ拘ハラズ資金融通ノ統制  
現金取引ノ増加、大政翼賛運動ニ對スル危懼等ニ由リ  
金融ハ梗塞シ公債消化力ハ減退シ物資ハ愈々不足ヲ  
告ゲ經濟界漸次萎縮シ來レルニ際シ租稅收入ノ自然増  
ヲ多額ニ見込ミタルコトニ付訊ス所アリ河田大藏大臣ヨリ  
前段ニ付テハ新規要求ニ付テノミ其ノ豫算單價ヲ最

近ノ物價及從來ノ豫算單價ヲ斟酌シ決定シタル旨  
後段ニ付テハ豫算通りノ実績ヲ收ムベキ見込ナル旨  
ヲ述ブ

(休憩 午後零時十五分—同時三十分)

二上委員ヨリ文部省體鍊官ノ任用規定ヲ問ヒ文官任  
用令第七條ノ官ト然ラザル官トノ區別ノ標準ヲ訊シ  
タルニ對シ入江法制局參事官ヨリ文部省體鍊官ハ文  
官任用令第七條ノ規定ニ依リ任用セラルベキ官ニシテ  
之が官制案閣議決定ニ際シ添附セラルベキ説明書中  
ニ此ノ旨ヲ明記シ内閣ヨリ關係各省ニ通報スル旨、而

シテ同條ニ依ル官ナルカ否カハ之ヲ嚴格ニ解シ苟クモ之ニ當ラザル懼アルモノニ付テハ特別任用規程ヲ設クル旨ノ説明アリ

南委員ヨリ近時甚シキ鐵道輸送ノ混雜ニ付之が原因及對策如何トノ質問アリ小川鐵道大臣ヨリ純軍事關係以外ニ於テモ船舶及石油ノ不足ニ因ル貨物ノ陸路經由、國內生産物ノ増加、外材輸入統制ニ伴フ國內材木ノ出荷、代用品使用及包装用物品再使用ニ伴フ輸送増陳情客ノ増加等ニ因リ事變前ニ比シ輸送量約六割ノ増加ヲ見タルニ車輛ノ増加ハ物資動員計畫ニ依リ

制約ヲ受ケ一割五分乃至二割ニ過ギズ爲ニ輸送困難ヲ來シタル旨、之が對策トシテ列車ノ運轉回数ヲ増加スル等能率發揮ノ方途ヲ講ジツツアル旨ノ答辭アリ

二上委員ヨリ鐵道省ニ於ケル經理局ト需品局トノ事務分掌ノ理由ヲ問ヒ陸海軍省及遞信省ニ於ケル事情ヲ訊シタルニ前段ニ付テハ鈴木鐵道次官ヨリ同省ニ於ケル物品關係ノ事務激增シタルニ因ル旨、後段ニ付テハ村瀨法制局長官ヨリ陸海軍省ノ物品關係事務ハ鐵道省ニ比シ規模大ナルモ經理局ノ外軍務局、兵備局等ノ關係部局ヲ存スルニ由リ、遞信省ノ同種事務ハ鐵道省ニ比シ規模小

ナルニ由リ孰レモ各經理局ヲ分割スル要ナキ旨ノ答辯アリ

南委員ヨリ時局ニ伴フ失業ノ概況ニ付質問アリ金光厚生大臣ヨリ曩ニ所謂七七禁令強化ノ際京都群馬方面ニ於テ約一萬人ノ失業者ヲ生ジタルガ内就職希望者ハ大凡軍需産業又ハ生産擴充産業ニ轉ゼシメ目下失業者數殆ド皆無ナルモ統制經濟強化ノ結果失業ノ懼アル者ハ頗ル多ク最近ノ調査ニ依レバ今後三箇年間ニ工業従事者ニ於テ凡ソ六十萬、商業従事者ニ於テ凡ソ八十萬合計約百四十萬ノ失業者ヲ生ズ

ル見込ナル旨ノ答辯アリ

潮委員ヨリ失業救済ニ對スル商工省振興部ト本案厚生省職業局トノ關係ニ付及労働行政一元化ノ見地ヨリ同局ト同省労働局トノ關係ヲ調整スルヲ可トスルコトニ付質問アリ金光厚生大臣ヨリ前段ニ付テハ例ヘバ業主が他ニ轉業スルトキハ商工省振興部ニ於テ業主が勞務者ト爲ルトキハ厚生省職業局ニ於テ關係スル旨、後段ニ付テハ暫ラク本案ヲ以テ進ムベキ旨ノ答辯アリ

二上委員ヨリ厚生省職業官ヲ職トスル理由及之ヲ

持ニ勅令上ノ職ト爲ス理由ニ付質問アリ兒玉厚生  
次官ヨリ之ヲ職トシタルハ指揮系統ノ關係ヨリ本省所  
屬ノ官タル身分ヲ失ハザルモ所掌事務ノ性質ニ  
鑑ミ之ニ特殊ノ職名ヲ附スルヲ便トシタルニ由ル旨入江  
法制局參事官ヨリ之ヲ厚生大臣ノ定ムル職ト爲スニ  
止メズ勅令上ノ職ト爲シタルハ其ノ活動ニ便ナラシメ  
ントシタルニ由ル旨ノ答辯アリ次デ同委員ハ臺灣總  
督府部局ノ事務分掌ハ總督之ヲ定ムルモノトセラレタル  
理由ヲ訊シタルニ對シ村瀨法制局長官ヨリ同府ニ於テ  
ハ朝鮮總督府ニ於ケルト同様部局ノ名稱ヲ以テ其ノ

分掌事務ノ輪廓ヲ知り得ルニ由ル旨ノ答辯アリ  
右終テ委員長ハ質問終了ト認メ大臣及説明員ノ  
退席ヲ求ム

(國務大臣及説明員退席)

其ヨリ委員間ノ協議ニ入り各員ヨリ意見ノ陳述ア  
リ殊ニ南委員ハ文部省官制中改正ノ件ニ關シ體  
鍊局ノ名稱ヲ體育局ニ變更スルノ要アリトス乃チ  
之ガ修正方書記官長ヨリ當局ニ交渉スルコトトシ修  
正ノ上ハ本案ハ其ノ儘可決セラレ然ルベキ旨全會一  
致ヲ以テ議決シ審査報告ノ作成ハ委員長ニ一任

スルコトニ決ス

仍テ石塚委員長ハ閉會ヲ宣ス

(午後五時閉會)

14

高等試験令中改正ノ件外九件第一回審査委員會

昭和十五年十月八日(火曜日)本院事務所ニ

於テ開會

出席者

原 議 長

審査委員長

鈴木副議長

審査委員

河合顧問官